

第24回下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時	平成25年8月6日（火） 午後2時00分～3時00分
場 所	下野市保健福祉センターゆうゆう館会議室
出席委員	杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、吉田良一委員、飯野洋委員、長光博委員、大木徳委員、園部小由利委員、中林佳子委員
欠席委員	水上美紀委員
行革推進 本 部 員	板橋副市長、古口教育長、落合総合政策部長、篠崎総務部長、菊地市民生活部長、蓬田健康福祉部長、落合産業振興部長、大橋建設水道部長、鶴見教育次長
事 務 局 傍 聴 者	小口総合政策課長、小谷野主幹兼課長補佐、山内主幹、坂巻副主幹 なし

○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 会議録署名人の指名
 - (2) 第二次下野市行政改革大綱実施計画進捗状況報告（H25.3.31現在）について
 - (3) 平成25年度スケジュールについて
 - (4) その他
- 4 閉 会

○あいさつ

（杉原会長） みなさんこんにちは。お久しぶりです。天候が荒れ模様となりそうですので、スムーズに会議が進行するように、ご協力をよろしくお願ひします。

（板橋副市長）

委員の皆様にはご多忙の中、行政改革推進委員会にご出席くださいまして、誠にありがとうございます。本市は合併して8年目を迎えて、10年間の有利な財政措置の期限が本年度を入れて残すところあと3年となりました。現在総合計画後期基本計画に基づいて、5年間延長された合併特例債等有利な財政制度をフル活用して、新市づくりの総仕上げを行っています。まちづくりの総仕上げを行うための基盤となる財政状況については、平成23年度に策定した下野市長期財政健全化計画に基づいて、経常経費の無駄の排除や、各財政指標を安全圏内に維持するという方針を固めて財政運営を行っています。合併以

来本市の財政状況は大幅に改善しており、財政健全度は県内市で小山市に次いで2位という評価となっています。

より効率的な行政運営や健全な財政を堅持する上で基本となる行政改革についても、平成22年度から平成26年度の5ヶ年計画である第二次行政改革大綱の中で、3つの基本方針、改革の柱と、7つの重点項目、改革のポイントを定め、取組を進めております。

また本市では、行政改革推進委員会のご意見やご提言を踏まえながら500事業にのぼるすべての事務事業について行政評価を実施し、市民目線の評価をいただくため市民評価を実施しており、市民の利便性向上や財政基盤の強化など一定の成果を上げていると考えています。本日は、7月22日に開催した下野市行政改革推進本部において、昨年度の取組状況、内部評価の取りまとめを行ったので、その報告をさせていただきます、委員の皆様から進捗状況や評価等について、忌憚のないご意見やご提言をいただきたいと考えています。

また、昨年度に引き続いて市民評価におけるヒアリングやその後の報告書のとりまとめ等お願いすることとなりますが、本日は今年度の事務事業評価におけるスケジュールについて、事務局からの説明がありますので、今年度実施する市民評価についても、積極的なご意見ご提言をお願いします。

住民に身近な基礎自治体である市町村の責務を適切に果たしていくために、変動する社会情勢に柔軟に対応し、安定的で簡素かつ効率的な自治体運営を確立することが求められており、本市においても市民の目線での評価に対して真摯に向き合い、更なる公共サービスの質的向上のため行政改革にしっかり取組んでまいります。委員の皆様には引き続き活発なご議論をいただきますようお願いいたします。

(行政改革推進本部員及び事務局職員自己紹介)

○議事

(1) 会議録署名委員の指名

(杉原会長) 今回の会議録署名委員を指名します。名簿順で、本日は、飯野委員と長委員をお願いします。

(2) 第二次下野市行政改革大綱実施計画進捗状況報告について

(杉原会長) 第二次下野市行政改革大綱実施計画進捗状況報告について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料1に基づき説明

1 ページをご覧ください。この報告書は平成22年に策定しました「第2次行政改革大綱」の具体的な取り組みを受けまして策定しました実施計画の進捗状況を報告するものであります。今回の報告書は、平成22年度から26年度までの5年間の計画期間のうちの3年目となります24年度の進捗状況報告となっております。

- ・「実施計画の進捗状況について」ですが、全体の評価として「計画どおりのA評価項目は7割以上であるため、B評価項目を重点的に推進強化する取組が重要となる」としました。今回は3年目の報告となり、今年度も含めてあと2年のうちに評価を上げていかなければならないということを念頭に、B評価項目事業を重点的に取組んでいくとの姿勢を打ち出しております。
- ・進捗状況の内容につきましては、実施項目63項目についての評価集計結果を掲載しました。昨年度からしますと、A評価は36項目57.1%でしたのが47項目74.6%に、B評価は26項目41.3%でしたのが16項目25.4%になり、C評価につきましては昨年度1項目ありましたが今年度はB評価に上がり0となりました。
- ・重点項目別の評価につきましては下段の表のとおりとなっておりますが、「1 事務事業・行政サービスの見直しと経営改善」、「2 受益と負担の見直しと協働の推進」、「3 組織人員の見直しと行政運営体制の充実」においてA評価が高い割合となり、「4 財政改革の推進」「5 市民と行政の対話の推進」においては解決する課題があることから相対的にB評価が多い割合となっております。全体を通しましては、今後はA評価項目の進捗状況の維持及び更なる発展と、B評価項目の進捗推進を重点化しまして、計画全体の向上を図っていく必要があるとしております。

2 ページをご覧ください。平成24年度の取組内容によります財政効果額をまとめたものとなります。財政効果額は2億6,048万円となっております。額の大きなものを説明させていただきます。

- ・1 番目の事務事業・行政サービスの見直しと経営改善におきましては、高齢者分の福祉タクシーの廃止によりまして、平成23年度予算ベースで1,972万円の減となっております。続いて、情報システム構築費用の精査によります事業費の削減ということで、平成24年度構築予定の情報システムにつきまして、システム投資の費用対効果の最大化という観点から見積もりの精査を行いまして、4,200万円を削減額として計上しております。
- ・2 番の受益と負担の見直しと協働の推進では、市税に係る前納報奨金の廃止に伴う経費削減としまして、平成23年度予算ベースで4,086万円の減となっております。

- ・ 3番目の組織人員の見直しと行政運営体制の充実では、職員給与に係るものとしまして、職員12名の削減に対し、短時間任用職員14名を採用したことにより削減見込額5,200万円、また職員3名の早期退職に伴い削減見込額2,320万円、臨時職員15名減によります削減見込額1,580万円となっております。
- ・ 4番目の財政改革の推進におきましては、予算査定の見直しにより、經常枠内経費削減額が5,386万円となっております。
- ・ 実施項目の中には成果等が金額に換算できないものがあることは当然ですが、目に見えるものとして報告しております。

3ページをご覧ください。こちらでは報告書の見方を記載しております。報告書は、平成23年度と比較し内容を確認できるようになっています。

- ・ 進捗状況は、4段階で評価しています。取組内容が、計画内容や実施年度スケジュールと比較しまして、「計画以上」がS評価、「計画どおり」がA評価、「やや遅れている」がB評価、「ほとんど進んでいない」はC評価となります。「事業進捗のイメージ」の図では、24年度でA評価の項目であっても、なにも行わなければ次年度でB評価となることを示しており、毎年度の課題解決の取組を求めています。

4ページ目以降は、実施項目における進捗状況について、個別の内容及び評価を記載しています。

- ・ 63の実施項目について、関係課からの報告のあった取組状況と独自の評価判定をもとに、7月22日開催しました庁内の行政改革推進本部にて決定しました進捗状況評価と評価に至ったコメントを記載しております。コメントにつきましては、平成23年度、24年度ともA評価以外の項目について記入してあります。また、進捗状況の評価につきましては、平成23年度A評価で、平成24年度もA評価であったものは33件、平成23年度B評価で平成24年度もB評価であったものが14件、A評価からB評価に下がった項目は3件、逆にB評価からA評価に上がった項目は12件、C評価からB評価になった項目が1件となっております。なかには平成23年度、24年度ともA評価であった項目についても課題等考えられる場合はコメントを記入しております。また、B評価項目につきましては、今後の対応についても記入しております。

- ・ 続きまして、重点項目ごとに主な実施項目について、状況を説明させていただきます。
- ・ 重点項目1番目の事務事業・行政サービスの見直しと経営改善では20項目ありますが、6ページ3番の「プロジェクトチームの有効活用」につきましては、組織横断的なプロジェクトチームとしては、庁舎建設プロジェクトチームのみが組織されている状況ですが、実施内容の趣旨に沿った、重要な行政課題に対応するための複

数の部署にまたがる組織が、記載のとおり必要に応じ組織されているためA評価といたしました。

- ・ 8 ページ 3 番「民間委託、指定管理者制度の推進」につきましては、石橋図書館・国分寺図書館に指定管理者制度を導入する手続きが行われ、平成 2 5 年 4 月から指定管理者により運営するという大きな進展が見られましたが、実施内容に記載していません、スポーツ施設、保育園等の指定管理者制度の導入についての検討が進んでいない状況であるため、その可否も含めた検討が必要であるとし、全庁的に見てB評価といたしました。
- ・ 9 ページ 5 番の「イベントの見直し」では、昨年開催しました産業祭のように、市の一体感を醸成するイベントへのリニューアルとして実施されるなどの改善がみられるためC評価からB評価へとしましたが、より一層の市全体を通しての統合・整理を推進するため、事務事業評価等において各種イベント事業の精査を行いました、事業のスクラップ&ビルドを進める必要があるとしております。
- ・ 1 3 ページ 1 番「類似の公共施設の運営方法の見直し」につきましては、図書館において 2 館は指定管理者制度の導入を行い、公民館については公民館運営審議会で公民館のあり方についての答申が出されました。また温浴施設ふれあい館、ゆうゆう館、きらら館の 3 館については、それぞれの機能特化に向けたより具体的な検討や整備等が進められているためA評価としました。
- ・ 1 7 ページからの重点項目、受益と負担の見直しと協働の推進につきましては、実施項目が 8 項目あります。
- ・ 1 9 ページ 4 番の「多様な納入方法の検討」につきましては、コンビニ収納が年々浸透しまして、市民の利便性の向上が図られており、その結果、平成 2 4 年度徴収率が 9 3. 9 %で県内 1 4 市の中で 1 位となっております。更なる利便性の向上を図るため、クレジットカードやペイジー等の収納方法の検討も行っております。
- ・ 1 9 ページ (2) 1 番の「補助金の公正な見直し」については、平成 2 3 年度に策定しました補助金の見直しに係る基本方針をさらに発展させた補助金の見直しのためのガイドラインを策定しまして、削減額 1 4 9 万円との実績もあることからA評価としました。
- ・ 2 0 ページ 2 番の「市民が担う公共的サービスの拡充」につきましては、平成 2 4 年度において市民活動団体等が市民主体のまちづくりに向けて自主的に取り組む事業に対し、補助金を交付する市民活動補助事業制度を新たに制定し、昨年度 6 団体 6 事業に対して補助金が交付されました。市民と行政の協働の進展が引き続き図られているのでA評価としました。市民活動団体の新たな事業展開に期待しております。
- ・ 続きまして 2 1 ページからの重点項目、組織人員の見直しと行政運営体制の充実におきましては、実施項目が全部で 1 6 項目あります。
- ・ 2 5 ページ 1 番の「組織機構の見直し」については、下野市行政組織機構改革検討委員会が組織され、新庁舎建設に合わせた組織機構の見直しを着実に進行しているためA評価としました。

- ・ 26 ページの 3 番「新庁舎建設事業の推進」につきましては、基本設計案についての市民説明会やパブリックコメントを実施しまして、市民の意見を求めながら基本設計をまとめました。
- ・ 次の段にあります。新庁舎建設によりまして現 3 庁舎のあり方、方向性について市有地利活用検討会議で検討を行い、利活用に関する基本構想を策定しました。その中で、国分寺庁舎と南河内庁舎は解体し、跡地を公民館等利用者の駐車場として整備します。石橋庁舎につきましては、児童館、公民館の老朽化も著しいことから、庁舎を取り壊し、市民窓口機能を持たせた複合施設を整備する方向ですが、石橋病院の移転が予定されていますので、今後病院跡地利活用と併せた再検討をすることになっております。
- ・ 27 ページの 2 番「職員提案制度の活用」に関しましては、24 年度は「1 グループ 1 改善運動」の展開によりまして、各課のグループ提案を制度化しました。その結果、個人・共同提案が 17 件、グループ提案が 74 件となりましたが、今後もさらなる制度の充実と事後評価等も含めて実施してまいります。
- ・ 続きまして、28 ページからの重点項目、財政改革の推進におきましては、11 の実施項目があります。
- ・ 29 ページの 1 番「財政健全化に向けた計画の定期的な見直しと財政指標の公表」につきましては、23 年度に策定しました「下野市長期財政健全化計画」を見直し、「第 2 次下野市長期財政健全化計画」を策定しまして、ホームページで公表しました。また、「経常収支比率」「財政力指数」等の財政指標を公表し、県内他市の平均と比較して良好な状態にあることを決算特集号で掲載しました。
- ・ 31 ページ 1 番の「広告掲載事業の拡大」につきましては、広報紙やホームページ等への有料広告の掲載件数が伸び悩んでおり、自主財源確保の観点から、新たな媒体の検討も含め一層の推進を図る必要があることから B 評価となっています。
- ・ 続きまして、33 ページからの重点項目、市民と行政の対話の推進では、5 つの実施項目をあげております。
- ・ 34 ページ 2 番の「審議会等委員の公募と女性委員の積極的登用」につきましては、女性委員の比率は 29.5% と増加しており、指針に示す目標比率 30% に近づいてきていますが、今後も女性委員の積極的登用を図るとともに、公募委員につきましても、審議会等の内容をわかりやすく説明するとともに、若年層の参加も得られる会議開催日等の見直しの検討が必要として B 評価としております。
- ・ 36 ページ 37 ページの、広域的な行政の推進及び、議会のあり方につきましては、ご覧のとおりとなっております。
- ・ 以上で、進捗状況報告書についての説明とさせていただきます。

(杉原会長) 今の説明について、委員の皆様からご意見、提言等をお願いします。
 この資料は 7 月 26 日に委員の皆様事前に配布されましたが、本日

まで10日間しか資料を読む期間がありませんでした。できれば2週間ほどの余裕をもって配布してもらいたいと思います。委員の皆様は10日間ほどの期間でも大丈夫でしょうか。自分としては2週間は欲しいです。事務局には努力目標として定めておいてほしいと思います。

では、皆様から内容についてご意見あればお願いします。

(園部委員) 20ページの2番に記載のある市民団体補助金とはどのようなものなのでしょうか。

(事務局) 6団体6事業の実績ですが、とちぎつばさの会下野支部が行っている男女共同参画社会づくり啓発事業、下野郷土芸能お囃子保存会が行っている下野郷土芸能お囃子保存会合同事業、プチサンタ親子会が行っているプチサンタ親子で楽しむ会、石橋地区イベントめぐり実行委員会が行っているいしばしイベントめぐりスタンプラリー、下野市グリーンタウンコミュニティ推進協議会が行っている地域安全マップ作成講座、NPO法人日本心身機能活性療法指導士会下野市杏支部が行っている特別支援児の身体機能向上を支援する事業となっています。

(園部委員) 事業の選定基準等はどのようになっているのでしょうか。

(杉原会長) 本日は各事業についての市民評価ではないため、進捗状況の全体の評価の妥当性等についてのご意見をお願いします。

(関口委員) 13ページ「類似の公共施設の運営方法の見直し」について、温浴施設3館の特化に向けた会議とあるが、昨年度の市民評価の報告ですでに方向性は決定していたはずであり、きらら館で記載のある部内検討会議や打合せとは今後このような会議を行い、説明を受けた中身について変わってしまうということでしょうか。

(蓬田健康福祉部長) ここに記載した会議は、昨年の市民評価で報告しました3館特化について検討した会議のことですので、3館の方向性については、その後変わってはおりません。

(関口委員) その後の変更はなかったということと考えます。

次に9ページ「イベントの見直し」について、産業祭以外に何を検討したのでしょうか。各種のイベントを検討した結果産業祭だけが市全体で開催されたということでしょうか。

(事務局) イベントの見直しは、第1次計画の時から統合等目指してきましたが、イベントの経緯、開催の目的等チェックしていく中で、なかなか難しいのが実情であります。現在は、統合まではいきませんが、庁内会議において各イベントの日程が重ならないような調整は行っています。産業祭については全市的に開催することができましたが、イベントごとの検討を行ったわけではありません。

(飯島委員) 13ページ「類似の公共施設の運営方法の見直し」について、公民館

については公民館運営審議会が指定管理者制度の導入について時期尚早と答申したとありますが、審議会として指定管理者制度は不要だとの判断なのでしょうか。

(鶴見教育次長) 県内の公民館で指定管理者導入を行っているのは1町だけだと思います。また、公民館単独ではなく、ほかの施設と一体的な施設として導入していたと思います。公民館については、一律的に一括して管理運営していく検討はなかなか進んでおらず、検討自体県内でも早い時期であり、そういう状況が答申の中で記載されているため、時期尚早との表現としました。

(飯島委員) 6ページ1番「市単独給付事業の見直し」に記載のある福祉タクシー事業の廃止については、推進委員会においてもいろいろ議論し不要ではないかとの意見があったかと思いますが、高齢者の方の話を聞くと、デマンドバスの使用方法が難しいため福祉タクシーを懐かしがっている方がいらっしゃいます。一度廃止と決まった制度については見直し等されないのでしょうか。

(蓬田健康福祉部長) 福祉タクシー廃止に伴う高齢者の方のデマンドバスの実績等が確定していないため、実績等勘案させていただいた上で検討させていただきたいと思います。

(杉原会長) 関口委員、飯島委員は、引き続きの委員であったため指名させていただきましたが、他の委員で意見等どうでしょうか。進捗状況報告書については、全体として委員皆様のご了承を得たということですのでよろしいでしょうか。
ありがとうございます。

(3) 平成25年度スケジュールについて

(杉原会長) 続いて平成25年度スケジュールについて事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料2-1、2-2、2-3に基づき説明

それでは資料2-1の平成25年度スケジュール表をご覧ください。

- ・上段が行政改革大綱に係わるスケジュールで下段が行政評価に係わるスケジュールとなっています。
- ・本日議題となりました実施計画進捗状況報告書については、市ホームページにて公表することとなっております。また、本日いただきましたご意見、ご提言につきましては、会議録として次回の会議にて確認取れしだい公表させていただきます。
- ・下段の行政評価につきましては、9月までは内部での事務事業評価におけるスケジュールとなっています。9月までに事務事業評価が終了しますので、10月の委員会から行政評価市民評価となります。本日お配りしました日程が記入された資料2

- ー 2 をご覧ください。本日の委員会の前に杉原会長と日程調整をさせていただき、日時を記入させていただきました。
- ・秋以降の会議は全部で7回を予定しています。まず、10月に市民評価対象事業を選定していただきます。11月からヒアリングと審議に入り、12月には結果のとりまとめを行い、翌年1月に市長への報告書提出及び意見交換会を予定しています。
- ・本日は日程(案)についてご協議いただきたいと思いますので宜しくお願いします。
- ・最後に資料2-3をご覧ください。行政評価市民評価については、昨年度び実施方法を変更し、評価対象とする事業を10事業とし、1事業における審議時間を増やしております。本日お集まりの委員の皆様は昨年度に引き続きとなるため、市民評価におけるヒアリングやその後の報告書のとりまとめ等、よくご承知のことと存じますので、詳細な説明は省略させていただきます。
- ・2ページをご覧ください。事業の選定については、市民評価の対象にありますが、①総合計画基本計画に具体的に位置づけられている事業、②原則500万円以上の事業、③非裁量の事業を除くという条件に当てはめて、事務事業すべての中から条件に合わせて抽出した事業の一覧表を提示して、そこから10事業を選んでもらいます。9月中には選定対象事業一覧表等を事前配付する予定ですので、各委員が10事業程度を選定していただいて、10月の委員会において協議・検討して、決定していただくこととなりますので宜しくお願いします。
- ・以上、平成25年度スケジュールの説明を終わります。

(杉原会長) 今の日程(案)について、委員の皆様からご意見ありますでしょうか。今後の委員会は木曜日に設定させていただきましたので、木曜日は駄目であるという場合は、まだ調整可能な時期でありますから、ご意見をいただきたいと思います。この(案)でよろしければこの日程で進めさせていただきます。いかがでしょうか。
ないようですので、日程については(案)にてご了解いただきます。
ありがとうございます。

(4) その他

(杉原会長) その他について、委員の皆様からこの機会に何かご発言ありますでしょうか。

(関口委員) 市民評価については、これから10事業選ぶわけですが、市民評価の対象の条件の中に、市として特にこの事業に意見が欲しいというものはあるのでしょうか。

(落合総合政策部長) 委員の皆様には自主的に10事業選んでいただいて、市側から特に示したりはいたしません。

(大木委員) 市民評価のヒアリング資料については、今後委員も交えて検討を行うのでしょうか。資料については、事業の評価を行うので、決算額等の

数字をもう少し記入していただきたいです。本日示されている資料では、翌年度の数字等が多く記入されているため、評価する年度の数字をもっと示してほしいと考えています。

(事務局) 市の事務事業評価は事前評価に軸足を置いており、決算状況は参考にはしますが、評価の対象とするのはあくまでもこれからのことであり、従って資料も予算や今後の事業内容に重きを置いております。事後評価ではないということをご理解いただきたいと思います。

(杉原会長) どこに重点を置いて意見を求めるとかではなく、委員の皆様が選んできた事業について、委員会で協議し10事業選択することになります。10事業の選定を行うのが初めての委員さんもいますが、事前のレクチャー等どうなりますか。事務局としては選び方等どうお考えでしょうか。

(事務局) 全500事業の中から、先の説明にもありましたが対象条件を満たした事業について一覧表を作成します。また、今の考えでは、昨年度評価された事業は除くと考えています。ただし昨年度評価された事業についても、国の制度が変わったりした場合、委員の皆様が再度評価対象としたいとなれば選定していただければと考えますが、原則として昨年度評価事業は除くものとして、一覧表作成の際には、その旨示させていただきたいと考えています。一覧表の中から委員の皆様が個人的に興味のある事業を持ち寄り、委員会で協議していただいて、10事業選定していただければと思います。

(杉原会長) 選定方法や今後の進め方について分からない点あればご意見をお願いします。

(園部委員) 今回の資料も送られてきたのが委員会直前で、資料を読むのが大変でした。いつ資料を送ってくれるか事前に分かっていたら、時間をつくらることができるのですが、どうでしょうか。

(事務局) 今回の資料は、本部会の承認を得てから送っていますので、あまり時間はありませんでした。次回の資料からはできるだけ早く送らせていただくようにするのでご了承いただきますようお願いいたします。

(園部委員) 資料をいつ送ることになりますというような事前連絡をいただくことはできないでしょうか。あれば資料が届いた際に慌てずに済み、事前に時間をつくることもできるので助かります。

(杉原会長) 資料をいつ送るとかではなくて、会議前何週間であれば、2週間前や3週間前であれば委員の皆様も資料に目を通すことができるということを決めておけば、その日程に合わせて事務局に送っていただくということでもよろしいでしょうか。

(園部委員) そのように決めていただければ分かりやすくいいと思います。

(杉原会長) 事務局が作成した資料は、委員の皆様へ送付する前に、会長である自

分との確認作業が入るので多少送付が遅れることもありますが、その点をご了承いただきますようお願いいたします。

2週間前には送付するようにとのことでいかがでしょうか。

(事務局) お送りする資料については、行政評価委員会の2次評価等、市としての方針を決定した後で委員の皆様にお示しするので、資料作成、調整を考慮すると2週間は事務局にはかなりハードであります。2週間前には送付できるよう極力努力いたします。日程等どうしてもつかない場合は不可能な場合もありますので、その点をご了解いただきますようお願いいたします。

(杉原会長) このほか、委員の皆様から何かご質問がありますでしょうか。ないようですので、予定された議事はこれで終了します。

以上